



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 5. 28

下水道機構の『新技術情報』 第47号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.iiwet.or.jp/>



読者の皆さまいつもご愛読いただきありがとうございます。昨年の6月から配信を開始しました機構メールマガジン『新技術情報』は、おかげさまで1周年を迎えます。

皆さまとキャッチボールのできるメールマガジンを目指し、今号から、新コーナーを添えて機構メールマガジン『新技術情報』第47号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

■□■■□トピックス□■■□■

★インフォメーション

・5月13日(土)～18日(金) IWA 主催の国際会議 (World Congress on Water,Climate and Energy) 参加報告！

★機構の動き

・今週は、6月1日(金)に「下水道における地震・津波対策」をテーマに下水道新技術セミナー【大阪会場】が開催されます

★Tea Break

・先週の月曜日 (下水道機構 E.T.さんからの投稿です)

★【新コーナー♪】まる子のゆいまーる

・おかげさまでメルマガ配信を開始して1周年を迎えます！

今年度は皆さまとキャッチボールのできるメールマガジンを目指して、新コーナーを始めます

★国からの情報

・5月24日付け下水道ホットインフォメーション

.....
インフォメーション (最新の話です)
.....

●5月13日(土)～18日(金) IWA 主催の国際会議 (World Congress on Water,Climate and Energy、アイルランド・ダブリン) 参加報告！

当機構資源循環研究部の朽岡研究員が参加し、「小規模下水処理場における下水汚泥燃料化システムに関する研究」について口頭発表を行いましたので、参加報告をお届けします。

=====

IWA 主催の国際会議 (World Congress on Water, Climate and Energy) が 2012 年 5 月 13 日～18 日の 6 日間、ダブリン (アイルランド共和国) にあるコンベンション・センターで開催され、研究発表および情報収集を目的に、5 月 14 日～18 日まで参加してきました。

ダブリンは、アイルランドの政治・経済・文化の中心地であり、アイルランド最大の都市です。歴史的建造物と近代的建造物が上手く調和されており、アイルランド独特の雰囲気を楽しむことができます。特に会場となったコンベンション・センターは、アイルランドを代表する近代的な建物であり、目の前をリフィー川が優雅に流れています。

さて、今回の国際会議には、800 ほどの応募 (アブストラクト提出) が 60 カ国以上の方からあったようで、ウェルカム・レセプションでは、アイルランドを代表するギネスビールを片手に、様々な国の方々が大いに盛り上がっていました。また、テクニカル・セッションでは、20 を超えるトピックについて、口頭発表とポスター発表が行われ、その中の【Greenhouse Gas Mitigation and Renewable Energy】のセッションで、私は『小規模下水処理場における下水汚泥燃料化システムに関する研究』について口頭発表を行いました。発表では、燃焼実験結果や温室効果ガス削減効果等について説明を行ったところ、発表後の質疑時間だけでなく、休憩時間にも質問やコメントをいただき、本研究に関心を持っていただいたことに嬉しく思いました。

国際会議に参加することは、私にとって初めてのことであり、会場の雰囲気だけでなく、ダブリンの街 (音楽、酒、建造物等) からアイリッシュな気分を楽しむことができ、貴重な経験となりました。

ダブリンは、観光としても魅力的な都市です。是非、皆さんも行かれてみてはどうか。

機構の動き (機構の行事予定です)

●第 56 回 下水道新技術セミナー(テーマ: 下水道における地震・津波対策)

【大阪会場】6 月 1 日(金)13:00～16:45 (場所:大阪科学技術センター)

【東京会場】6 月 8 日(金)13:00～16:45 (場所:発明会館)

※参加お申し込みはコチラ→ http://www.jiwet.jp/school/school-02_056.htm

※大阪会場は定員に達しましたので申込受付を終了いたしました。

●第 305 回 技術サロン(テーマ: 横浜市における下水処理施設等の計画的な修繕・改築への取り組み)

6月14日(木)17:00~18:00 (場所：下水道機構 8階会議室)

※参加お申し込みはコチラ→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-305.htm>

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●先週の月曜日 (下水道機構 E.T.さんからの投稿です)

みなさんは先週の月曜日の朝、何をされていましたか。みなさん同じ方向を眺めていたのではないのでしょうか。そう、金環日食です。我が家でも、観賞用メガネを購入し、準備万端で臨みました。天気が心配されましたが、雲の切れ間から金環日食を見ることができました。どうやら、今回の金環日食は日本各地で見ることができたようですね。我が家では、一つしかない観賞用メガネを妻、娘と取り合いながら見ました。実に幻想的でした。高いなあと思った観賞用メガネですが、買ってよかった。本当かわかりませんが溶接マスクで見ていた人もいたようですが。

さて、今回、世間を騒がせた金環日食ですが、1987年の沖縄以来で25年ぶりみたいです。しかも、今回のように日本の広範囲で見ることができたのは平安時代以来、932年ぶりといえますから驚きです。

でも、さらに驚きのことが近々起きるようです。観賞用メガネは捨てたらいいけません。日面通過(金星が太陽の表面を通過する現象)が6月6日に起きるようです。これを逃すと105年後ですので見逃せません。しかも今度は、見ることのできる時間が長く、取り合いにもなりません。

金環日食、日面通過、そして東京スカイツリーOPENと楽しいニュースは気分が良いものですね。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です♪)

●おかげさまでメルマガ配信を開始して1周年を迎えます！

今年度は、皆さまとキャッチボールのできるメールマガジンを目指して、新コーナー『まる子のゆいまーる』を始めます。特長は次のとおりです。

(1) 写真や画像の投稿など、多様で分かりやすい情報交換が可能になりました！メールマガジンのテキストにWebサイトを連携させることで、写真や画像を添えた情報提供が出来るようになりました！これにより、皆さまから多様でビジュアルな情報を投稿いただけます。また、機構からも機構での出来事や職員の出張先でのひとコマなどを、画像を交えてタイムリーに発信します。

★今回は、トピックスにもありました資源循環研究部の柘岡研究員のダブリン出張

【下水道企画課、流域管理官】

特定事業場から下水道に排除される下水の水質の基準を定める下水道法施行令第9条の4第1項に1, 4-ジオキサンを追加し、基準値を0.5mg/L以下に設定する等その他所要の改正を行うことを内容とする「下水道法施行令の一部を改正する政令」が閣議決定されました。

同令については、5月23日（水）に公布され、同月25日（金）に施行されます。なお、感光性樹脂製造業など、一定の業種の特定事業場においては暫定排除基準が適用されることや、既存の特定事業場については原則半年間の猶予期間が設けられていることなど、各種経過措置が適用されることとなります。

同令の内容については、下水道部のHPに掲載いたしましたのでご参照ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000206.html

○「下水道地震・津波対策技術検討委員会報告書」のとりまとめについて

【下水道事業課】

国土交通省では、東日本大震災における被害の特徴から、被災地に向けて適切な復旧を行うための技術的手法の検討を行うとともに、全国の下水道施設に適用する耐震・耐津波対策の方向性についてとりまとめ、総合的かつ計画的な下水道地震対策を推進するため、これまでの地震対策に係る技術指針の見直し方針を示すことを目的に、「下水道地震・津波対策技術検討委員会」を設置しました。

本委員会では、被災した下水道施設の復旧及び被災地の復興に資するため、4次にわたる提言をとりまとめ、公表してきましたが、この度、委員会における審議内容のすべてを網羅した「下水道地震・津波対策技術検討委員会報告書 ー東日本大震災における下水道施設被害の総括と耐震・耐津波対策の現状を踏まえた今後の対策のあり方ー」をとりまとめましたので、お知らせします。

●研究集会「災害時のトイレ確保と下水道の役割」を開催します

【NPO21世紀水倶楽部】

1995年の阪神・淡路大震災以来相次いで発生する大規模地震災害で、トイレが使えなくなったことから命を落とす関連死の問題がクローズアップされています（阪神・淡路大震災ではそのために900名の方々が亡くなったと言われています）。そして昨年の東日本大震災においても、トイレ対策が大きな問題となりました。多くの下水道高普及都市で下水道施設が被災したために下水道機能が停止し、トイレを全く使うことができなくなるという事態になった都市もありました。

そこで、下水道高普及都市において大災害が発生して下水道の機能が失われ、トイレが使えないというのはどういう状態なのかを東日本大震災の被災地から見るとともに、災害時のトイレ確保の重要性を訴え、トイレの確保はどうすべきなのか、また、

